

日本音楽療法学会 研究発表特別大会（オンライン）

【ご挨拶】

日本音楽療法学会 オンライン企画特別委員会
委員長 那須貴之

コロナ禍にあつて、生活者として、また音楽療法士として様々な困難を抱えておられる学会員の方々が多くおられることと思います。まずは謹んでお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避ける必要があり、学術大会もこれまでと異なる形が求められました。第 20 回の学会学術大会は、講演・講習会のみをオンラインで配信するという形態となりました。

加えて来たる 2021 年 2 月、学会員の皆さんの発表・情報共有の機会として、「研究発表特別大会」(以下本大会)をオンラインで開催することといたします。本大会は、研究発表の新たな形を模索する“はじめの一步”です。オンライン企画特別委員会では、現時点で最善と思われる方法を検討し、企画いたしました。学会員の皆さんと共に、“明日へのチャレンジ”として踏み出したいと思います。

これからの音楽療法の発展のためには、多様な情報を共有し、課題を検討しつづけることが必要です。そこで、本大会の研究発表では、音楽療法の多様性を反映し、これまでの“誰を対象にしていたか”だけでなく“何をしているか”、また“音楽療法士”自身にも焦点をあてて発表カテゴリーを再考しました。その他に演題応募書式の枠も緩和しました。結果がすぐに出ないトピックであっても、音楽療法の発展や深化に貢献できる可能性を求めて、積極的に議論していきたいと思います。プログラムには演題発表に加え、自主シンポジウムと公募ワークショップを設けました。演題発表だけでは語りつくせない内容、ディスカッションしながら深めたい話題、参加者と共有したい方法や情報など、ふるってご応募いただきたく思います。尚、応募の具体的な要領は、下記の各項をご参照ください。

学会員の皆さんのご発表・ご参加を、心からお待ちしております。

【オンライン研究発表について】

本大会での発表はすべて、事前に大会サイト上にアップロードされたデータを、参加者各自が PC 等で視聴するオンデマンド形式です。参加登録時に発行される ID・パスワードでログインいただくと、期間中いつでも、何本でも視聴することができます。発表者にはあらかじめ発表データ（動画かスライド）を作成し提出いただきますが、具体的なデータ作成やアップロードの方法については、追って通知いたします。

それぞれの演題に座長はつきません。質疑応答はメール等の媒体を介して行う予定です。

【プログラム】

※1～3 すべてに査読審査があります。

1. 研究発表	①スライドのみ (10枚程度)	発表内容をスライドで作成し、配信。(ポスター発表に近い形態)
	②発表動画 (10分間まで)	スライドに発表の音声を加えた動画を配信。(セッション動画を載せることも可能 ※倫理的配慮が必須)
2. 自主シンポジウム	③動画 (60分間まで)	対面で行ったシンポジウムの録画動画、または会議システム(zoom等)の録画機能で撮った動画を配信。
3. 公募ワークショップ	④動画 (60分間まで)	音楽療法士の実践、あるいは研究に関する技術向上に貢献する内容を、実演又は講義で紹介する。あらかじめ撮った動画を配信。

【視聴公開期間】

2021年2月22日(月)～3月8日(月)まで(予定)

※Web上での事前参加申込みが必要です。

【演題応募申込期間】

2020年11月2日(月)～12月3日(木)まで(予定)

※申込方法詳細は後日、学会HPにてお知らせ致します。

【採択された演題の動画の提出】

2021年1月5日(火)～2月4日(木)まで(予定)

※査読採択者には動画作成の方法などお知らせします。

【参加登録受付期間】

2020年11月2日(月)～2021年2月1日(月)まで

登録方法は後日、学会HPにてお知らせ致します。

※閲覧システムへの登録の都合上、従来のような当日参加はできません。

【参加登録費】

正会員・賛助会員：5000円 学生会員：2000円

期間中すべての発表が視聴可能です。

抄録はWeb上で配信します。紙媒体での抄録冊子は作成しません。

本大会は学会員(学生会員含む)限定です。

非会員の共同発表者で参加登録希望者は、採択後に登録してください。

【応募資格】

(1) 研究発表

- ①応募時点で一般社団法人 日本音楽療法学会 正会員または学生会員であり、2020年度の学会年会費および「2020年度 日本音楽療法学会 研究発表特別大会」参加費が納入済みであること。
- ②筆頭演者（筆頭発表者）以外の共同演者（共同発表者）は、本学会会員に限らない。非学会員の共同発表者が参加を希望する場合は、特例として正会員と同じ参加費で申し込むことができる。ただし、採択通知後に申し込むこと。

抄録作成フォーム(テンプレート)は、後日、学会HP「研究発表特別大会」にアップします。

倫理に関する「同意書」「誓約書」等は、後日、学会HP「研究発表特別大会」にアップします。

(2) 自主シンポジウム

- ①企画者（申込者を兼ねる）は応募時点で一般社団法人 日本音楽療法学会 正会員または学生会員であり、2020年度の学会年会費および「2020年度 日本音楽療法学会 研究発表特別大会」参加費が納入済みであること。
- ②企画者以外の共同演者（司会者、話題提供者、指定討論者）は、本学会会員に限らない。非学会員の共同演者は、特例として正会員と同じ参加費で申し込むことができる。ただし、採択通知後に申し込むこと。

応募のための「企画書書式」は、後日、学会HP「研究発表特別大会」にアップします。

(3) 公募ワークショップ（講義系含む）

- ①企画者は応募時点で一般社団法人 日本音楽療法学会 正会員または学生会員であり、2020年度の学会年会費および「2020年度 日本音楽療法学会 研究発表特別大会」参加費が納入済みであること。
- ②応募は個人に限り、共同（連名）での発表はできない。任意で協力者を依頼することはできる。
- ③配信という形態上、使用する楽曲に関しては、著作権の切れているもの、あるいは著作権フリーのものに限る。音源、メロディ、歌詞、振付においてすべて著作権が関わるので厳重に留意すること。

応募のための「企画書書式」は、後日、学会HP「研究発表特別大会」にアップします。

【発表ポイントについて】

学会認定音楽療法士の資格に関わる発表ポイントは、「研究発表」「自主シンポジウム」

「公募ワークショップ」すべてにおいて付与されます。

- (1) 研究発表：筆頭発表者のみ
- (2) 自主シンポジウム：企画者、話題提供者、指定討論者
- (3) 公募ワークショップ（実演及び講義）：企画者のみ

【参加ポイントについて】

本大会視聴参加者には「学会参加ポイント」が付与されます。

【著作権について】

私たちが楽曲をセッションで使用する場合は JASRAC との協議のうえで使用することが認められています。しかしオンライン学会は公衆送信とみなされ現時点ではセッション時の楽曲使用と同じとみなされません。著作権が切れたもの以外で歌詞を発表スライドに掲載すること、動画に演奏や歌唱、振付けを含めることはすべて著作権の侵害につながる恐れがあります。従いまして本大会では著作権の侵害の可能性のある内容は含めないように注意喚起いたします。発表者は十分に留意し、遵守して発表データを作成するようお願いいたします

【個人情報の保護と倫理配慮】

発表内容やデータから個人が特定されないようにする個人情報の保護、さらに症例 対象者や当該施設から同意を得ること、発表内容が公序良俗に反しないことは倫理的な問題だけにとどまらず場合によっては法的な問題になる場合があるため、発表者は十分に留意し遵守してください。

【研究発表カテゴリー ～参考～】

以下の発表カテゴリー表は研究発表内容を指定するためのものではありません。音楽療法に関する募集演題の多様性を示すための参考としてご利用下さい。

メインカテゴリー	サブカテゴリー	例
1、音楽療法の実践による対象者及びその行動変容に焦点をあてたもの	医療領域	病院、診療所等、医療サービスにおける臨床研究
	精神医療・精神領域	精神医療、精神障害への関りに特化した臨床研究
	代替医療・補完医療	代替医療、補完医療としての音楽療法実践臨床研究
	福祉・介護領域	介護施設、高齢者へのサービスにおける実践研究
	福祉・障がい者領域	療育活動、放課後デイサービス、障がい者施設等における実践研究
	保育、教育領域	保育所、特別支援学級（学校）等での実践研究、
	保健衛生	母子健康教室、予防などに対する実践研究
	環境への介入 コミュニティーミュージック	家族や介護者、スタッフのケアなど 対象者と周囲の人間関係も含めた介入

	ジックセラピー	
	人生の最終段階	ホスピス、緩和ケア、看取りにおける臨床研究、グリーフケアなど
	その他	自主グループ、民間音楽教室における実践、司法領域、その他
2、音楽療法の実践方法に焦点をあてたもの	セッションでの工夫	楽器の使い方、場の工夫など人を対象としないもの
	コロナ禍での音楽療法	コロナ禍における音楽療法の実際、セッションでのリスクやリスク回避の工夫、新しい方法など
3、働き方・教育等、音楽療法士に焦点をあてたもの	働き方・キャリア	働き方への提案、紹介、他の資格との併用、雇用（専任・兼任、常勤・非常勤の実際）、保険、マネージメントなど
	養成・卒後教育	養成に関する実際、課題、卒業後のフォロー体制、新人教育、スーパービジョンなど
	普及・啓蒙活動	施設内での音楽療法への意識調査など
	多職種連携	チーム医療、地域連携、行政との連携など
	セルフケア	音楽療法士のセルフケアなど
4. 基礎研究（音楽療法実践を豊かにする理論など）	実践の裏付けとなる理論	医学的研究、心理学的研究、社会学的研究 例：生理学、神経学、精神分析、精神力動、関係性、社会心理学、音楽心理学、行動理論、発達理論など 哲学的視点：美学、臨床哲学、スピリチュアル、倫理など 音楽療法独自の理論や手法：同質の原理、即興演奏、分析的音楽療法、文化中心的音楽療法、美的音楽療法、コミュニティ音楽療法、GIMなど 海外の音楽療法事情、歴史など
	研究の視点や手法	質的研究（解釈主義的研究法） 現象学、エスノグラフィー、当事者研究（ユーザーズエビデンス）など 量的研究
5、その他（上記以外）		上記に該当しないもの

【演題応募書式について】

研究発表は学会の指定する従来の書式（学術形式、事例形式）での応募の他に、従来の書式での記載方法でまとめることが難しい場合には、【その他の書式】として応募することができます。その際、「発表の目的」「取り組みの概要」「得られた知見」「成果と今後の課題」などの内容を整理し、小見出しを設け記載するようにしてください。

企画運営：オンライン企画特別委員会